

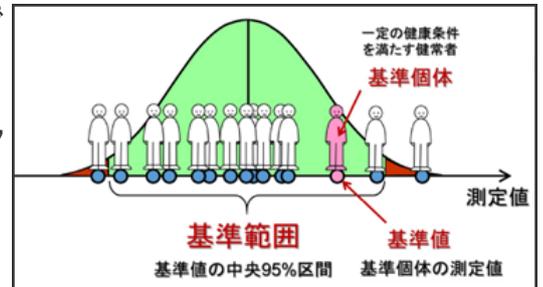
# 生物学的基準範囲と臨床判断値について

med0001  
[1/1]

## ●生物学的基準範囲：biological reference interval (図1)

基準個体から得られた測定値（基準値：reference value）の分布から、その中央95%の領域を統計的に求めたもの。基準個体（健常者から一定の条件で選ばれた個体）のうち5%は基準範囲外となるので、「正常」と「異常」とを必ずしも区別する値ではない。

産業における計測用語の「基準範囲」と区別するために、医療における基準範囲を特に「生物学的基準範囲」という。



## ●臨床判断値：clinical decision limits

臨床検査値を用いて、特定の病態に関して、その診断・予防や治療・予後について判定を行う際の基準となる値

図1 生物学的基準範囲の概念

### ◇診断閾値：diagnostic threshold (カットオフ値：cutoff value) (図2)

特定の疾患や病態があると診断するための検査の限界値で、その疾患に特異性が高い検査に対して設定される。疾患群・非疾患群での検査値の分布を調べて最適な値が設定される。

- 例) 前立腺癌に対するPSA
- 肝癌に対するAFP
- バセドウ病に対するTR-Ab

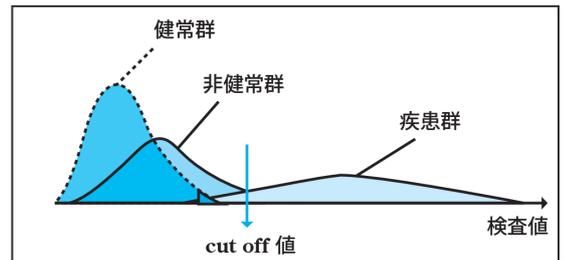


図2 診断閾値（カットオフ値）の概念

### ◇治療閾値：therapeutic threshold

緊急検査などにおいて、治療介入の必要性を示す限界値

- |                       |                  |
|-----------------------|------------------|
| 例) 心・筋障害のリスクが高いK / Ca | 透析導入が必要なクレアチニン   |
| 交換輸血の対象となるT-Bil       | 感染リスクが高い好中球数     |
| 出血リスクが高い血小板数          | 肝性昏睡のリスクが高いアンモニア |

### ◇予防医学閾値：prophylactic threshold (図3)

特定の疾患を発症するリスクが高いと予測され、予防医学の見地から対応が必要とみなされる判定値。当該疾患の専門家の合意により、生活習慣病など頻度の多い疾患のリスク因子とみなされる検査に対して設定される。

- 例) 特定健診に含まれるALT, γ-GT, HDL-C, LDL-C, TG など

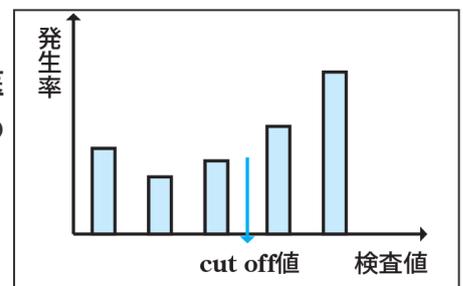


図3 予防医学閾値の概念

日本臨床検査医学会. 臨床検査のガイドライン